

出場競技者注意事項

1 競技について

- ① 競技方法は男女及び男女総合での学校対抗とし、各種目の得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点として順位を決める。同点の場合は優勝種目数によって順位を決め、尚それによって順位が決まらない場合は第2位の数により、以下之に準ずる。
- ② 競技は2017年度(公財)日本陸上競技連盟規則に準じて行う。
- ③ 安全について→フィールドを横切らないことを厳守する。(リレーなどレース終了後は特に注意する。)
- ④ 点呼はプログラムに示された時刻のトラックは40分前から始めて20分前、フィールドは60分前から始めて50分前までに終了する。点呼に遅れた競技者は棄権とみなす。(受付は本人で行う。)
- ⑤ 他の種目と兼ねて出場する場合は、その旨を審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。(2種目同時に兼ねて出場する競技者は、所定の用紙を招集開始時刻までに、招集所へ提出すること)
- ⑥ チンバーカードは胸、背の両面に確実につける。(但し、棒高跳、走高跳びは胸、背のどちらかにつけても可・走幅跳は胸だけでも可)
- ⑦ 競技者変更は事故があった場合のみとする。(大会前日の監督会議に補員名簿から行う。)
※競技者同士の交換となるので、同じ競技者が2種目にエントリーしている場合、1種目のみの交換は不可。(あくまでも競技者の交換となる)【九州・全国に準ずる】
- ⑧ 競技場におけるレーン、フィールド競技の順序はプログラムに記載し、上段から順次下段に移る。決勝の走路順は本部抽選とする。レーン順は走る方向に左から1、2、3・・・と数える。
- ⑨ 用具は会場に備えつけのものを使用する。但し、ポールは各自のものを使用する。
- ⑩ バーの上げ方

	練習	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
男子走高跳	1.50m	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	1.86	1.89
女子走高跳	1.25m	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64
棒高跳	2.00m 3.00m	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10

- ⑪ 同成績の場合に於ける第1位決定のためのバーの上げは追加試技1回した後に次の様にする。
○走高跳 男女共2cm ○棒高跳 5cm
- ⑫ 各競技者の受付は第3コーナーとする。
- ⑬ 走り幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、ジャベリックスローに於いて参加者多数の場合、カットラインを設けることがある。
- ⑭ 九州大会派遣のための決定戦を行う場合がある。
- ⑮ ハードルについての規定

種目	高さ	スタートラインから第1ハードルまで	ハードル間	最後のハードルからフィニッシュラインまで	ハードルの数
男 110 mH	91.4 cm	13.72 m	9.14 m	14.02 m	10
男 100 mH	84.0 cm	13.00 m	8.50 m	10.50 m	10
女 100 mH	76.2 cm	13.00 m	8.00 m	15.00 m	10
女 80 mH	76.2 cm	12.00 m	7.50 m	15.50 m	8

- ⑯ 原則として競技中におきた競技者の行為または順位に関する抗議は、監督によりその種目の結果が正式に発表されてから、予選15分以内、決勝30分以内に本部に申し出ること。それ以外は、一切受付しない。【競技規則第146条による】
- ⑰ トラック競技のスタート合図は英語で行う。
- ⑱ リレーのマーカ使用後は各チームではがすこと。

2 表彰について

その種目の決勝が終わり次第第1～3位に表彰を行うので決勝終了後、係りの指示に従うこと。

3 ナンバーカードについて

各学校で準備する。(大会要項参照)

4 その他の注意

- ① 応急処置を必要とする場合は、本部待機の救護担当係まで連絡すること。
- ② オールウェザー用スパイクピンはトラック9mm以下、フィールド11mm以下を使用する。
- ③ 各種目入賞者は、上着ユニホーム・アップシューズで表彰に臨むこと。
- ④ 競技場内でオーディオプレーヤー、携帯電話等通信可能な機器の使用を禁止する。
- ⑤ 競技の観戦、応援はスタンドで行うこと。(競技場内に立ち入らない)
- ⑥ リレーの補員は、プログラムに記載されていれば登録メンバー以外も可能。
- ⑦ 競技者は、陸上競技のユニホームまたは学校指定の体育着で参加すること。(他競技のユニホームや短パンの重ね着は認めない。尚、リレーのユニフォームは統一とする)